

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成 29 年 10 月 2 日

計画の名称	相模原市緑地保全事業			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度（5年間）	交付対象	相模原市		
計画の目標					

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐためには、多様な生物の生命、清らかな水や豊かなみどりを大切にし守り育てることが必要です。そのため、相模原市水とみどりの基本計画においては緑地の公有地化の拡大を推進施策に位置付けており、近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区の買入を進め、市街地に残る貴重なみどりの保全・再生を目指します。

計画の成果目標（定量的指標）	近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の緑地について、都市緑地法に基づき買入申出がなされた場合において土地の買入れを行い、市有緑地面積を21万5千㎡（H30当初）から28万7千㎡（H34末）として公有地化の拡大を図り、市街地に残る貴重なみどりを将来にわたって保全する。				
----------------	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)	
近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入面積から算出する。	21万5千㎡	25万8千㎡	28万7千㎡	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,500百万円	A	2,500百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	R1	R2	R3	R4				
A-1	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全事業（相模原近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（5.5ha）	相模原市						2,200			
A-2	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全事業（相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（1.4ha）	相模原市						210			
A-3	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全事業（下九沢内出緑地保全地区）	土地の買入れ（0.3ha）	相模原市						90			
合計													2,500				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	R1	R2	R3	R4				
合計																	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3	R4		
合計															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	R1	R2	R3	R4		
合計															

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
配分額 (a)	203.000	320.000	324.400	189.413	202.438
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
交付額 (c=a+b)	203.000	320.000	324.400	189.280	202.438
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
支払済額 (e)	203.000	320.000	324.400	189.280	199.373
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000	0.000	0.000	3.065
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	0.000	3.065
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.000	0.000	0.000	0.000	3.065
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 相模原市緑地保全事業 都道府県名： 相模原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	—
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月06日

計画の名称	相模原市緑地保全事業											
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	相模原市											
計画の目標	<p>やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐためには、多様な生物の生命、清らかな水や豊かなみどりを大切に守り育てることが必要です。</p> <p>そのため、相模原市水とみどりの基本計画においては緑地の公有地化の拡大を推進施策に位置付けており、近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区の買入を進め、市街地に残る貴重なみどりの保全・再生を目指します。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,266	A	2,266	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度当初	平成32年度末	平成34年度末
1	<p>近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の緑地について、都市緑地法に基づき買入申出がなされた場合において土地の買入れを行い、市有緑地面積を21万5千㎡(H30当初)から28万7千㎡(H34末)として公有地化の拡大を図り、市街地に残る貴重なみどりを将来にわたって保全する。</p> <p>近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入面積から算出する。</p>	215000m ²	258000m ²	287000m ²

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	相模原市緑地保全事業(相模原近郊緑地特別保全地区)	土地の買入れ(5.5ha)	相模原市						2,060		-
	A12-002	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	相模原市緑地保全事業(相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区)	土地の買入れ(1.4ha)	相模原市						164		-
	A12-003	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	相模原市緑地保全事業(下九沢内出緑地保全地区)	土地の買入れ(0.3ha)	相模原市						42		-
											小計						2,266		
											合計						2,266		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 市内部評価	事後評価の実施時期 令和6年10月
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	相模原近郊緑地特別保全地区、相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区及び下九沢内出緑地保全地区の3地区において、6.5haの土地の買入れを行うことで、適正な維持管理が可能になる市有緑地の増加を図ることができ、恒久的な緑地保全にも寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和5年度以降においても、引き続き各緑地保全地区の土地の買入れを進めることにより、市街地に残る貴重なみどりを保全・再生し、多様な生物が生息できる恵み豊かで美しい自然環境の形成をめざす。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標	近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入れ面積から算出する。
	最終目標値	287000m ²
	最終実績値	280000m ²
		対象事業箇所について、概ね目標値を達成することができた。相続等を起因とした地権者からの買入申出面積が計画の想定面積より少なかったことから最終目標値に届かなかったが、計画期間中の買入申出については、地権者都合の1件を除いてすべて対応できた。

(参考図面)

